



国際会長 (IP) Henry Grindheim (ノルウェー)

“Let Us Walk in the Light—Together” 「ともに、光の中を歩もう」

“Fellowship across the Border” 「国境なき友情」

会長 舟田 正夫
副会長 古賀 健一郎
書記 伊藤 誠彦
会計 古田 和彦
直前会長 金子 功

アジア地域会長 (AP) Tung Ming Hsiao (台湾)

“Respect Y's Movement”

「ワイズ運動を尊重しよう」

東日本区理事 (RD) 栗本 治郎 (熱海)

「広げよう ワイズの仲間」

“Extension Membership & Conservation”

湘南・沖縄部部長 (DG) 金子 功 (横浜)

「Y'sの絆を強め、広げよう」

“Let's Tighten and Expand the Bonds of Y's Men”

横浜クラブ会長 (CP) 舟田 正夫

「YMCA とともに！」

“Together, with YMCA!”

監事 松島 美一
ブリテン 古賀 健一郎
野村 郁雄
担当主事 青木 一弘

＜今月の聖句＞

押川 沢江

「それゆえ、わたしの主が御自ら あなたたちにしるしを与えられる。見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み その名をインマヌエルと呼ぶ。」

(イザヤ書7章14節)

今月のひとこと

「七面鳥」

松島 美一



昔々、五十数年前の話。私はアメリカに留学して最初のサンクスギビング、収穫感謝祭の休暇にシカゴYMCAの紹介で近隣の家庭にホームステイをしました。その時の晚餐に七面鳥のローストが出ました。七面鳥はクリスマスに食べるものとばかり思っていた私は驚きました。

アメリカでは感謝祭に七面鳥を食べる人々が多く、この日が七面鳥の日 (Turkey Day) とも呼ばれるには次のような話が伝えられています。

1620年、宗教的迫害から逃れてイギリスからアメリカ大陸へ移民した清教徒の多くが最初の年の冬を越せずに亡くなったと伝

えられています。この年の冬は寒さが厳しく、イギリスから持ってきた作物も育ちませんでした。彼らを救ったのはインディアンと呼ばれたネイティブアメリカンでした。その食料援助のお陰で一部の移住者たちは生き延びることができたそうです。

先住民からトウモロコシ、カボチャなどの栽培技術や野生の鳥、七面鳥を食べることを教わり、次の年に清教徒たちは収穫を感謝する礼拝を守り、恩人のインディアンを招待しました。インディアンにもこの時期に収穫感謝の祭をする風習があったそうです。

この事がきっかけとなり収穫感謝祭が始まり、その日だけでなくクリスマスのようなお祝い事の日にも七面鳥を食べるようになったそうです。さらにこの風習はヨーロッパに伝わりイギリスなどでは七面鳥がクリスマスディナーの定番となったということです。

私の娘は外資系の会社に勤めていますが、数年前日本に来て間もないアメリカ人の同僚に訊かれたそうです。「日本人はどうしてクリスマスにケンタッキー・フライドチキンを食べるの？」

＜2017年11月例会実績＞

在籍者	出席者	出席率	B F	
17名	メン 13名	81 %	今月分	
(功労)	メネット 0名		切手	0 g
会員1	コメント 0名	前月修正出	現金	0円
名を含む)	ビジター 0名	席率 %	年度累計	
	ゲスト 1名		切手	0 g
	合計 14名		現金	0円

< 12月の行事予定 >

強調月間「EMC/MC」

日	曜	時間	行事内容	場所
5	火	19:00	第79回 Y-Y's協議会	中央YMCA
14	木	18:00	第1例会兼忘年会	中華街廣東飯店
21	木	18:00	横浜Yクリスマス会	とつかYMCA

「11月例会報告」

齋藤 宙也

日時:11月9日(木)18:30~20:30

場所:横浜中央YMCA501号室

出席者:青木、伊藤、今村、大江、大高、金子、神村、古賀、齋藤、田口、野村、舟田、古田

ゲスト兼卓話者:池田直子氏(横浜YMCA)

司会は齋藤。司会だからかどうかはともかく、久しぶりに定刻までに到着。開会点鐘から食事までつつがなく進行し、卓話へ。卓話は、横浜YMCA広報の池田直子女史による、YMCAのブランディングに関する説明であった。

普段はカメラウーマンとして、YMCAのイベントでお世話になっているが、今度はブランディングの広報としてお目にかかったものである。

ブランディングの説明自体は、私に関してはこれまでに何度も聞いていたところであり、冊子(ブランドブック)も目慣れたものになっていた。しかし、今回は今までより時間を取ってあることもあり、ブランディングの過程や今後の予定など背景事情にも立ち入った内容が含まれていた。初めて説明を聞いた人も、既に説明を聞いたことがある人も新しい発見があったように思う。

ともあれ、革袋自体は新しくなったところであり、これからは、そこに注ぎ込む酒、すなわちYMCAの活動全体の評価が問われていくのだと思った。

ビジネスは、かなり多くの項目があったが着実に進み、無事終了した。ロバ献金 12,000 円のほか、子クラブたる沖縄那覇クラブによる、沖縄YMCA55 年史の出版協力のための募金として12,500 円がささげられた。

「横浜YMCAウェルカムフェスタ」と 「熊本スピリットクラブとの会食」

伊藤 誠彦

11月23日(木・祝)、横浜中央YMCAウェルカムフェスタ2017が開催されました。横浜ワイズの担当は例年通りバザー。会場は606教室。

22日(水)、Yスタッフの方々が予め搬入しておいて下さった品物を、9名のメン・メネが協力し、誰が指図するでもなく、それぞれが自分の裁量で持ち場を担当し、13:00~17:00までの間に、陳列、値付けをほぼ終了し、フェスタ当日を迎えました。

当日は9:00に11名のメン・メネが集合、前日やり残した作業を手際よく片付けて、記念撮影も終え、10:00の開場を迎えました。例年通り開場と同時にドットと入場者が押し寄せ、11:00過ぎまでの間は、品定めする人であふれかえり、大混

雑の様相を呈しました。

毎年品薄感が増す中で、今回の売り上げは107,000円と前年をやや下回る結果に終わりました。過去のプリテンで調べてみると、ここ数年は10万円超を目指すのが常態化していますが数年前までは15万~20万円の実績を上げていました。贈答品の代わりに商品券を贈るなどの生活習慣の変化、企業からの献品減少が影響しているようです。

準備を含めた参加者は、青木、伊藤、大高、金子、神村、古賀、齋藤、舟田、大助かりでした。この他、石井さんをはじめ、両日ともYのスタッフの方々も参加して、大活躍して下さい、大助かりでした。

23日は熊本スピリットクラブから2名のビジターを迎え、



フェスタ終了後に中華街の廣東飯店で歓迎の会食をしました。熊本スピリットクラブは齋藤ワイズが2015年7月に横浜クラブに転入会されるまで、チャータメンバーの一人として、所属されていたクラブです。

この度、DBC(兄弟クラブ)締結も視野に入れて、生駒春美会長と福島貴志副会長がお見えになりました。会食には今村ワイズも駆けつけて下さり、熊本の話題とともに会を大いに盛り上げていただきました。



会は終始和やかな雰囲気が進み、これからの交流を図っていくということになりました。福島ワイズは「熊本からいき

なり横浜に出てきて大丈夫かという懸念があったが、来て良かった」とつぶやいておられたのが印象的でした。

会食への横浜クラブからの参加者は、伊藤、今村、金子、古賀、齋藤、舟田の8名でした。

「第2回 湘南・沖縄部評議会」

金子 功

日時:2017年11月18日(土)15:15~17:15

場所:横浜中央YMCA 501号室

当日欠席の部書記松島ワイズに替わって伊藤部会計が司会の労をとった。金子部長の開会点鐘に始まり、ワイズソング、ワイズの信条を唱和、青木部担当主事の聖書朗読、祈祷により開会された。司会者により定足数が確認され議事進行は金子部長によって進められた。殆どの議案が1か月前の第1回役員会で協議された案件であったために、特別の疑義もなく

以下の通り承認された。

- ① 佐藤節子次期部長より次期書記が堀田哲郎ワイズ（厚木クラブ）、会計が伊藤誠彦ワイズ（横浜クラブ）が提案され承認。
- ② CS支援金の申請書が一部とつかクラブの追加説明によりすべて承認された。
- ③ 事業予算の一部修正について部会計より説明があり承認された。
- ④ Y-Y 's 合同新年会を 2018年1月13日（土）18:00よりワークピア横浜で開催されることが提案され承認された。会費5,000円
- ⑤ 沖縄への部長公式訪問プログラムの概要が説明され承認された。
- ⑥ 沖縄YMCA55年史発刊募金協力については一般会計に計上されている沖縄YMCA支援金30,000円をこれに充てることで承認した。
- ⑦ 次年度次期部長の選任については継続審議事項になった。報告事項では部長より11月4日（土）に行われた第2回区役員会の結果が報告された他、部に新しく設置されたエクステンション委員会（委員長佐藤節子ワイズ）の会議結果が報告された。各クラブ会長、YMCA報告をもって17:15に終了した。

横浜クラブ出席者：青木、伊藤、金子、古賀、舟田、古田。

尚、評議会に先立ち横浜YMCA/YWCA合同祈祷礼拝が行われ、横浜クラブ押川幸男ワイズ（日本キリスト教団馬込教会）が説教者として招かれ評議会出席者の内、何名かが合同礼拝に参加した。

また、評議会の席上、横浜YMCAも参加している神奈川県の新しい募金運動「寄付 to カタログ」へ参加呼びかけが総主事室高村文子スタッフからアピールがあり何人かが賛同した。

「EMC委員会報告」

古賀 健一郎

10月に発足した部エクステンション委員会に関して、随時ご報告させていただきます。

1. 湘南・沖縄部を取り巻く環境・状況に対する基本的認識
 - ・当部の今期の会員数は、前期より8名減少して合計115名である。
 - ・当部は、YMCAとの協働において、会員増強や新クラブ設立の可能性が最も高い部であると認識されている。
2. 『Extension Membership & Conservation』（E・M・C）推進
 - ・『E・M・C』とは、『Extension（新しいクラブ設立）Membership（会員増強）& Conservation（会員の維持）』との英語名で、「広げよう ワイズの仲間」との趣旨。
 - ・部にエクステンション委員会を設置し、新クラブ設立に積極的に取り組む体制を確立する。横浜YMCAのブランチ、保育園等33ヶ所に対して6つのワイズメンズクラブは少ないと言わざるを得ない。各ブランチに1クラブの設立が理想的である。YMCAとの協働の中で、会員増強や新クラブ設立の可能性を追求していく。部として

は複数年をかけてもクラブを増やすExtensionに力を注ぐことを確認した。

3. 「部エクステンション委員会」の基本的構想
 - ①横浜YMCAと協働して傘下のブランチ、保育園がある地域に新クラブを設立する。
 - ②沖縄YMCAと協働して沖縄に新クラブの設立を検討する。（次号に続く）

横浜訓盲院と日本水上学園にワイズポテトを贈呈

舟田 正夫

横浜クラブは11月7日（火）十勝ワイズメンズクラブ提供のジャガイモ（ワイズポテト）を今年も横浜訓盲院と日本水上学園にそれぞれ10箱届けた。これは例年横浜クラブが地域奉仕事業活動の一環として行っているもので、今年は青木担当主事の運転で今村ワイズと舟田会長の3人が直接届けた。

今村ワイズの事前の連絡により横浜訓盲院の鳥居正義施設長と横浜訓盲学院の山中大治事務長が、そして、日本水上学園では職員の方達がワイズポテトを待っており、大変喜ばれた。



「近況報告」

押川 幸男



今年の3月、東京モンテッソーリ教育研究所の2年間の学びを修了してモンテッソーリのディプロマを取得し、幼稚園入園前の子どもたちにモンテッソーリ教育を教えています。

私自身、幼稚園園長を20数年経験しましたが、幼稚園児である3歳以上の子どもたちではなく、今回初めて2歳前後の子どもたちに接していると、この年齢の子どもたちの成長に驚かされています。

私自身、実際に2歳前後の子どもたちと接する中で、子どもが母親だけでなく、家庭外での信頼できる質の高い保育者や教師そして洗練された教具を含めた豊かな環境に身を置くことができれば、その年齢に相応しい多くの遊びに出会い、その子どもの敏感期を有意義に過ごすことができ、確かな非認知能力を身につけることができることを実感しました。

子どもたちは、内なる欲求である様々な発育を常に求めています。その欲求に相応しい教具や環境を与えれば、それらを何度も繰り返す中で、達成感や満足感を通して自己肯定感や感覚を身につけていくことができるのです。

今接している子どもの中には、言葉の発達が遅れている子どもや里親の子どもたちもいて、どのように対応したら良いのか戸惑うこともありますが、それらの問いかけに真摯に向き合いながら、私自身のこれからの人生の新たな歩みを始め

てみたいと思っています。

「近況報告」

金子 功



師走とあって、1年を締めくくる何か明るい、楽しいニュースをお届けしたいと思っていたがそうともいなくなってしまう。私の健康状態である。今までは、若さと健康を売り物に80才になった今でも薬や、栄養補助食品は一切使っていないことを自慢してきたものだが、この一月余り、嘗てのような食欲もなく、微熱が続いてる上、ちょっとした激しい運動にも息切れを感じるようになった。

もともと健康診断では常に鉄分不足が指摘され、丁度1年前には、骨髄異型性症候群と診断され、其の後3か月ごとに横須賀共済病院の血液内科で血液検査を受けてきた。11月の血液検査で貧血症状が進んでいるようなので今回は12月13日に検査することになっている。

数日前、微熱と息切れが気になってかかりつけの内科医の診断を受けたが様子を見てみましょうと薬の処方もしてもらえなかった。大事に至らなければよいが次回の血液検査の結果を見守っている。健康のありがたさを改めて痛感する年末になってしまった。



担当主事 青木 一弘

■横浜中央YMCAウェルカムフェスタのご報告

横浜YMCA国際・地域協力募金の一環として、横浜中央YMCAでは、11月23日(木・祝)に、ウェルカムフェスタを開催いたしました。横浜ワイズメンズクラブの皆様には、バザーのボランティアとしてお手伝いいただきました。当日はバザーの販売で約11万円の募金が集まり、ウェルカム・フェスタ全体では約90万円の募金が集まりました。事前準備や当日の販売のボランティアをして頂いた、皆様に、心より感謝いたします。

●2017年度クリスマス会のお知らせ

2017年度YMCAクリスマス会のお知らせです。クリスマス喜びを皆様と共に分かち合いたいと思います。皆様のご参加お待ちしております。

日程：12月21日(木) 午後6時30分～午後8時30分

会場：湘南とつかYMCAホール

開場：午後6時00分

説教：宇野 緑 牧師(恵泉女学園大学キリスト教教育主任 日本キリスト教団牧師)

祝会：午後7時45分～8時30分 祝会参加費(1,000円)は、当日受付にてお願いいたします。

●第3回 子ども支援(BAPY)募金のためのチャリティーゴルフ

このゴルフコンペは、経済的な理由によりYMCAで行うさまざまなプログラムに参加することができない子どもたちの

支援のための基金の増強を目的に、開催されます。皆さまのお申込みを心よりお待ち申し上げます。

実施日時： 2018年3月12日(月)

会場： 戸塚カントリー倶楽部 東コース・西コース(選択制) 対象年齢 年齢不問(YMCA会員、賛助会、維持会員及びその紹介者) 定員160名

費用： 30,000円(グリーンフィー・キャディフィー・ロッカー代・当日昼食代・チャリティー費用・表彰式・パーティー費用・消費税を含みます) 申し込み方法は以下の通りです。

・申込書に必要事項をご記入の上、2017年11月6日(月)～2018年2月24日(土)までに郵送またはFAXにて大会事務局へお送りください。

・お一人でもお申込みいただけます。その際、事務局でグループをアレンジさせていただきます。

担当：藤沢YMCA/チャリティーゴルフ係

〒251-0025 藤沢市鶴沼石上1-13-7

TEL:0466-26-1151 FAX:0466-26-3406

E-Mail hamaymca@yokohamaymca.org

12月例会プログラム

日時：12月14日(木) 18:00～20:30

場所：廣東飯店 (横浜中華街)

司会：古賀ワイズ

第一部 例会

1. 開会点鐘および挨拶 舟田会長
2. ワイズソング・ワイズの信条 . . . 全員
3. 今月の聖句 押川ワイズ
4. ビジネス・報告 舟田会長
5. **Happy Birthday** 古田伽知子(13)
6. 閉会点鐘 舟田会長

第二部 忘年会

1. 食前感謝 押川ワイズ
2. 会食
3. 1年を顧みて

例会報告：伊藤ワイズ

1月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
13	土	18:00	Y-Y's 合同新年会 兼 第一例会	中華街廣東飯店
25	木	17:00	横浜クラブ第二例会	中央YMCA

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 045-641-5785

★ 強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う ★